

書写指導員派遣事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村忠嗣
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H19 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 県内小中学校で書写の指導に不安を感じている教員が多いため、実技の面で指導のサポートが必要						[問題・課題を表す客観的データ] 小学校：国語科、書道の免許を保有している学級担任が25%しかいない。 中学校：国語科教員の33%が指導を不得意としている。					
[事業目的] 書道団体と連携して、書写指導員を学校に派遣し、児童・生徒の書写技能と教員の指導技術の向上を図る。											
[事業内容] 書写教育の推進 (1) 書写指導員の派遣 70校(小学校40校・中学校30校) 320学級 に派遣 候補者リスト登録 73名 (2) 書写指導員研修の実施 3会場(福井市、若狭町、小浜市)											
[受益者] 県内の児童生徒・教員						[想定される受益者数] 約11万人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新たな部活動指導体制推進事業 (役割分担) 高校については、「新たな部活動指導体制推進事業」(教職員課)を活用				
市町との連携状況	・学校から出される申請、報告等の取りまとめを依頼。書写指導員から提出された情報などは市町教委に提供。書写指導員研修には希望する教員も参加。					他県の状況					

書写指導員派遣事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村忠嗣	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,695				2,695							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		3,074	2,695	2,695	2,695	2,695						
2月現計予算額の推移		3,074	2,695	2,695	2,695							
決算額の推移		3,074	2,605	2,568								
前年度までの 主な増減理由	令和2年度から高校については、「新たな部活動指導体制推進事業」（教職員課）を活用したことに伴い減額。											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								児童・生徒の書写技能および教員の指導技術の向上を図るための事業であり、定量的に成果を把握することは困難である。			
活動指標	書写（書道）指導員が サポートする学校数	-	(70) 実績	(70) 74	(70) 81	(70)	(70)	令和2年度から6年度までで350校を目指す。				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は、目標を超えて達成することができ、派遣実施校からも教員の技能向上や児童・生徒の書写に対する意欲の高まり、書字能力の向上が見られたなどの報告があったことから、来年度も継続する。 ・派遣校81校 1,248時間 ・書写指導員派遣候補者リスト登録 73名 ・書写研修会 4会場 91名				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

文化財指定促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H26 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助										
補助率	県1/2										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県文化財保存活用大綱]					
[解決すべき問題・課題] 県内の文化財の価値付け、保存、活用が十分行われていない						[問題・課題を表す客観的データ] ・国重要文化財指定数 福井県114件 石川県135件 富山県50件 岐阜県159件 静岡県225件 愛知県342件 三重県189件 ・国重要無形民俗文化財指定数 福井県5件 石川県8件 富山県9件 岐阜県12件 静岡県11件 愛知県12件 三重県10件					
[事業目的] 県内にある未指定の文化財の掘り起こしと価値づけを行うとともに、県民の財産である文化財を保存し、学校教育や観光への活用を図るため、国指定等に向けた調査を推進する。											
[事業内容] ○国指定等に向けた民族、古文書、建物等の調査 ・三田村家文書・歴史資料 ・大瀧神社文書・歴史資料 ・若狭能倉座の神事能 等 ○文化財調査特別顧問の配置											
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 文化財保護審議会 (役割分担) 県指定文化財の指定について審議等を行う				
市町との連携状況	県実施事業も市町と協働して調査を実施するとともに、市町実施事業についても補助して調査を進めていく。					他県の状況	—				

文化財指定促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣		
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営、補助									経過年数			10 年
補助率	県1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,331				2,331								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		11,007	7,281	6,647	8,041	2,331	・三田村家文書・大瀧神社文書の歴史資料調査事業の事業内容縮小による減 ・戸祝い行事の調査事業終了による減 ・若狭能倉座の神事能調査事業の報告書刊行による増 ・旧京藤家住宅調査事業終了による減						
2月現計予算額の推移		7,000	4,182	6,077	8,041								
決算額の推移		6,130	2,171	5,504									
前年度までの主な増減理由		・H30 調査完了による減額 (H29 橋家文書、柳ヶ瀬トンネル 完了) ・R元 調査完了による減額 (H30 大音家文書、今庄宿町並み保存対策 完了) ・R2 調査完了による減額 (R元 小浜放生祭、三方石観世音堂 完了) ・R3 一部調査廃止による減額 (大滝地区文化財レベルアップ調査 廃止) ・R4 戸祝い行事の調査事業終了年度による報告書刊行等による増額											
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	文化財の新規指定件数 (目標)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	年ごとに実際の新規指定件数に多少の増減はあるが、県指定を年間10件を目安に指定を進めていく。				
	実績	1	14	10	4								
活動指標	文化財調査件数 (目標)	(27)	(27)	(27)	(27)	(27)	(27)	(27)	文化財の調査件数についても、毎年同数を継続して調査していくことが、安定的な指定へとつながるため、同数を維持する。				
	実績	28	27	29	34								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
活動指標の調査件数については、目標どおり達成。一方、成果指標の新規県指定については、目標未達。 (外的要因) コロナ禍における調査不十分・評価未定により県指定を見送ったため				県指定については、調査担当の文化財保護審議会委員と円滑に調査日程を調整、目標通りの指定件数を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	5,710		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

福井の文化財緊急修理事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	各市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	事業費の1/6							<input type="checkbox"/> その他				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県文化財保存活用大綱]					
[解決すべき問題・課題] 福井県の魅力を発信するうえで、文化財を修理し、活用していくこと、また崩壊する恐れがある文化財について、緊急的に修理が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・崩壊の危険があるが修理を先延ばしにしている件数 2件(旧瓜生家住宅・荻野家住宅)						
[事業目的] 歴史的魅力にあふれた文化財群を修理・整備することにより、福井県の魅力発信する手段として活用する。												
[事業内容] 重要文化財のうち、崩壊の危機など緊急性の高いものにかかる修理事業を支援 ・旧瓜生家住宅 建造物半解体工事(実施設計書作成)												
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井の文化財を未来へプロジェクト (役割分担) 本事業では、緊急的に修理が必要な文化財に補助金を交付する。「福井の文化財を未来へプロジェクト」では、修理を通して、所有者の負担軽減や技術者・材料等の課題を解決するモデルとなる文化財に補助金を交付する。				
市町との連携状況	国・県の補助残分の費用を市が負担					他県の状況						

福井の文化財緊急修理事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	各市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	事業費の1/6											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	9,101					9,101						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		32,499	25,499	19,739	29,579	9,101	「福井の文化財を未来へプロジェクト」への下記補助金の組換えによる減 ・大安寺 建造物半解体工事 16,666千円 ・西福寺 建造物半解体工事 29,706千円					
2月現計予算額の推移		26,316	12,166	19,739	29,579							
決算額の推移		23,229	5,151	18,928								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ H30 申請数減少による減額 ・ R元 修理工事開始による増額 ・ R2 事業費減少による減額 ・ R3 補助率調整による減額 ・ R4 交付件数増による増額 										
[成果指標等の推移]												
区 分		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	緊急修理が必要な文化財の総数に対する補助件数割合(%)	(目標) (100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)				
		実績 100	100	100	100							
活動指標	補助金の交付件数	(目標) (2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(2)				
		実績 2	1	2	3							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・市町から要望のあった事業については、予定どおり補助金を交付することにより活動目標は達成した。 ・所有者の財政面の問題等により要望にあげることができなかった事業に対しては、今後の事業の進め方の助言等行うに留まった。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	20,478	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井の文化財を未来へ プロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣
事業主体	県	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	中村 忠嗣	
事業実施方法	直営、補助										
補助率	事業費の 1 / 15										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]	関連する県の計画等		[福井県文化財保存活用大綱]							
[解決すべき問題・課題] 文化財修繕のための適切な技術者や材料が県内では乏しく、国指定では県外業者への発注となる。そのため修理費が高額となり、県内に事業費がほぼ還元されない。						[問題・課題を表す客観的データ] 所有者自己負担：大安寺・西福寺とも2億円超 重文施工元請ができる会社：県内1社					
[事業目的] 全国的にも主要修理の「大安寺」および「西福寺」をモデルとし、所有者の負担軽減や技術者育成等の課題を解決し、修理事業による効果の県内循環を創出することを目指す。											
[事業内容] (1) 適切な文化財修理の実施（文化財修理に係る補助金交付） 大安寺、西福寺の修理を着実に実施するため、県補助金を交付する。 (2) 資金調達のためのクラウドファンディングの情報発信支援（ふるさと納税を活用したクラウドファンディング等） 所有者が資金調達する際の情報発信支援として、地域おこし協力隊を活用する。											
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井の文化財緊急修理事業 (役割分担) 「福井の文化財緊急修理事業」では、緊急的に修理が必要な文化財に補助金を交付し、本事業では、修理を通して、所有者の負担軽減や技術者・材料等の課題を解決するモデルとなる文化財に補助金を交付する。				
市町との連携状況	国に随伴し、県および市も補助金を交付					他県の状況					

福井の文化財を未来へ プロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	事業費の1/15											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	49,168				49,168							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						49,168						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								文化財修理の適切な実施が目的であり、定量的な成果把握は困難。大安寺は本堂の修理、西福寺は御影堂の修理を計画どおり実施する。			
活動指標	クラウドファンディング の実施(件) (目標) 実績					(2)			大安寺については、ふるさと納税を活用、西福寺については、文化庁の指定寄附金制度を活用し実施する。			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額	
								—				

文化財継承基盤整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]	関連する県の計画等		[福井県文化財保存活用大綱]								
[解決すべき問題・課題] 平成31年4月の文化財保護法の改正を受け、「福井県文化財保存活用大綱」を策定し、県内文化財の総合的な保存・活用に向けて、文化財の基礎情報の把握と文化財の保護意識醸成等が求められている。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和4年度末現在文化財保存環境状況調査件数： 84件／約500件						
[事業目的] 有形文化財を中心とした、国・県指定文化財の保存環境等の状況調査を実施し、今後の文化財の保存・活用に生かすとともに、調査結果を学校教育等で活用することにより、文化財への保護意識の醸成に努め、次世代に継承していくための基盤を整備する。また、修理が必要な文化財の早期発見につなげる。												
[事業内容] ○国・県指定文化財の所在確認等調査 ・ 所在場所、所有者(管理者)等の確認 ・ 文化財保存環境状況等の調査 等 ○県指定文化財台帳の更新・デジタル化、国指定文化財台帳データベースの作成 ○リニューアルホームページ「福井の文化財」の運用												
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担			<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井県文化財保護審議会 (役割分担) 文化財保存環境状況等の調査には、福井県文化財保護審議会委員等の学識経験者とともに実施する。			
市町との連携状況	文化財保存環境状況等の調査には、可能な限り市町の文化財保護主管課職員の同行をお願いし、文化財の現状、調査結果を共有する。					他県の状況						

文化財継承基盤整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,003				1,003							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			9,412	1,158	1,158	1,003	事業内容の見直しにより、単年度報償費および旅費の減					
2月現計予算額の推移			5,334	828	844							
決算額の推移			4,957	653								
前年度までの 主な増減理由	令和2年度から令和3年度の減は、ホームページリニューアル完了による減。											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	指定文化財台帳の整備件数 (目標)		(100)	(100)	(100)	(100)	(300)	常時整備	調査対象文化財の紙媒体の台帳(総数約500件)を、年100件×5か年でデジタル化し、データとして整備。			
	実績		100	100	100							
活動指標	国・県指定文化財調査件数 (目標)		(34)	(139)	(139)	(75)	(250)	(500)	調査対象文化財(総数約500件)を10か年で調査			
	実績		22	29	33							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・成果指標の指定文化財台帳のデジタル化は、目標どおり達成。 ・活動指標の文化財調査件数については、目標を達成できなかった。 (事業による要因) 調査担当の学識経験者の多忙化により、調査日程の調整が困難だった。 (外的要因) コロナの影響により調査の延期等が生じた。				・現地調査においては、更なる効率化を図りつつ、委員の多忙化、高齢化および新型コロナウイルスの感染対策の影響を鑑み、事業終了年度を延長。 ・随時、調査可能な学識経験者について広く人材を確保し、調査が円滑に進むことを目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	155	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

社会教育関係団体活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]	関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]								
[解決すべき問題・課題] ライフスタイルの変化等により地域のつながりに対する意識が希薄化し、社会教育関係団体は、会員数の減少など団体が衰退。それにより、生活における相互扶助や伝統文化の維持、地域課題の解決等の地域の社会教育機能が低下。団体活動活性化に向けて、地域住民が参加したくなるような魅力的な教育プログラムの開発や活動の周知が必要。						[問題・課題を表す客観的データ] H21の団体毎の会員数を 100 とする。 R元の " の会員数 57.3 R02の " の会員数 53.6 R03の " の会員数 49.8 ※団体毎の会員数をH21と比較した割合の平均値						
[事業目的] 県域で活動する社会教育関係団体(以下、「団体」という。)が公民館等と連携して、子どもから高齢者まで様々な世代の地域住民にSDGs達成に向けた多様な教育の提供を支援し、団体活動が活性化することにより、地域の社会教育を促進する。												
[事業内容] (1) 社会教育関係団体がSDGsの達成にむけた活動プログラムを作成 (2) 社会教育関係団体の活動プログラムをリスト化し、市町・公民館等に事業を周知 (3) 県は、公民館等と社会教育関係団体が連携して行った場合、参加人数に応じて活動支援費を社会教育関係団体に支給 (4) 団体、市町担当者、公民館関係職員(社会教育士を含む)等による「団体活動報告会・情報交換会」を開催(年度末) <活動支援費(活動費の1/2)> 参加者(人) 活動支援費(千円) ① 1~19 60□ ② 20~39 75□ ③ 40~ 90□												
[受益者] 県内住民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町に事業の周知、協力を依頼 ・団体、市町担当者および公民館関係職員(社会教育士を含む)等で、 情報交換会を実施(R4.5.20)					他県の状況						

社会教育関係団体活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R5 年度	
事業実施方法	補助			経過年数									
補助率	1/2			3 年									
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,247					3,247							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					3,946	3,592	3,247	事業実績による申請見込金額の減					
2月現計予算額の推移					2,564	2,135							
決算額の推移					616								
前年度までの主な増減理由		・R4：事業実績による申請見込の減											
[成果指標等の推移]													
区分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	団体会員数(ポイント)	(目標) 実績	57.3	53.6	(51.9) 49.8	(50.8)	(49.7)	(50.8)	(49.7)	地域の社会教育機能の促進を団体会員数で測る。10年前の団体の会員数を100とするとR5の会員数は40.1Pと予測されるが、本事業により、予測より9.6P増加する。			
活動指標	活動数(件)	(目標) 実績			(50) 12	(42) 23	(42)	(42)	(42)	団体が希望した公民館等と連携して教育活動を行った数			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
成果指標の団体会員数は、年度明けの調査により確認する。 活動指標の活動数は、下記の理由ため目標を達成できなかった。 (事業による要因) 支部団体への事業の周知不足と事務手続きの負担感 (外的要因) 新型コロナウイルス感染症拡大防止による団体活動の自粛					・団体の会議等で、事業内容や事務手続きのサポート等を説明する場を設け、一層の周知を図る。 ・活動事例の情報共有や、地域と団体の交流促進を継続し、団体活動の一層の推進につなげていく				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	345	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

子どもの読書活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H15 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[第3次福井県子どもの読書活動推進計画]						
[解決すべき問題・課題] 自主的に読書を楽しむ児童の割合が低い						[問題・課題を表す客観的データ] ふだん読書をしな小・中・高校生の割合 小学校：25.9% (R4)、中学校：37.7% (R4)、高校：45.0% (R3)						
[事業目的] 子どもが自主的に本に親しみ、みんなで読書を楽しむ環境づくりのために、家庭、地域、学校において子どもの読書活動を推進する。												
[事業内容] ○福井県子どもの読書活動推進会議の開催 ○同年代に読書の楽しさを伝える「ジュニア司書」を養成 ○幼稚園教諭、保育士向けの研修会を開催 ○成長段階に応じ選定した推奨図書の普及啓発 等 ○産科のある病院と連携し、絵本講座を開催 ○教職員や子ども読書ボランティア向けの研修会を開催												
[受益者] 0歳～高校生						[想定される受益者数] 約13万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町教育委員会と協力して推奨図書の選定を実施					他県の状況	・国は平成30年4月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を定めた。全都道府県が、子どもの読書活動推進計画を策定し、計画に基づく取組を実施している。					

子どもの読書活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H15 年度 経過年数 21 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度						
事業実施方法	直営																	
補助率	—																	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等												
予算額	3,849				3,849													
[予算額の推移等] (単位：千円)																		
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由											
当初予算額の推移		792	3,077	4,475	3,759	3,849	・推奨図書小冊子の改訂（3年毎）に伴う配布先増 ・福井県子どもの読書活動推進会議の委員増員のため											
2月現計予算額の推移		792	3,077	4,475	3,759													
決算額の推移		666	2,154	3,912														
前年度までの 主な増減理由		H30 例年の事業予算に、福井県文学特別顧問による講演会等開催のため予算増加 H31 例年の事業予算に、第3次福井県子どもの読書活動推進計画の策定のため予算増加 R2 第3次福井県子どもの読書活動推進計画策定に伴う新事業実施のため予算増加 R3 第3次福井県子どもの読書活動推進計画策定に伴う推奨図書を紹介した小冊子の印刷部数が増加したため予算増加 R4 推奨図書を紹介した小冊子の部数の印刷減およびライブラリーステイ（図書館に宿泊して災害を学ぶ）事業を休止したため予算減少																
[成果指標等の推移]																		
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	講座等の参加者数	(目標) (279)	(325)	(325)	(325)	(325)	(325)	(325)	子どもの読書を普及啓発する講座を対象とする									
		実績 229	272	430	472													
活動指標	講座等の開催回数	(目標) (10)	(28)	(28)	(28)	(28)	(28)	(28)	子どもの読書を普及啓発する講座を対象とする									
		実績 11	17	23	15													
[事業の評価]																		
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価										
・活動指標（講座等の開催回数）は目標を達成できなかった。 （外的要因）コロナ感染防止のための開催自粛 ・オンライン開催の導入等、コロナ禍でも可能な形を探りながら講座を実施した結果、成果指標（講座の参加者数）は目標を上回って達成できた。				新型コロナウイルスの感染対策の影響を鑑みながらも、関係者と調整しながら、参加者の負担軽減を図り、事業の拡充を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額							
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-							
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他								

「白川文字学」普及活動事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村忠嗣	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]	関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]								
[解決すべき問題・課題] 一般部門の白川静漢字教育賞への応募者数の減少						[問題・課題を表す客観的データ] 「一般の部」応募数 第1回62点、第2回64点、第2回69点、第4回72点、第5回69点、第6回66点、第7回38点、第8回16点、第9回11点						
[事業目的] 白川静博士が平成16年度に文化勲章を受章されたことを機に平成17年度より推進してきた本事業は、令和3年度で17年を迎えた。これまでは学校教育を中心に推進を図ってきたが、今後は、生涯学習において白川文字学を学ぶ場を提供する。												
[事業内容] 白川文字学普及事業 ①「白川文字学ゼミ」の開催 ②「白川文字学こども漢字教室」の開催(親子書道教室、集まれ!「わたしの漢字」展を含む) ③「白川静漢字教育賞」の開催 ④県内外における白川文字学を活用した出前講座の実施												
[受益者] 児童生徒・教員						[想定される受益者数] 約11万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	白川文字学に関する出前講座を児童館や公民館などで実施					他県の状況						

「白川文字学」普及活動事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村忠嗣	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H17年度 経過年数 19年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6年度	
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,445					1,445						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		9,699	1,742	1,506	1,505	1,445	・白川文字学ゼミの回数減（3回→2回）					
2月現計予算額の推移		6,902	931	1,606	1,606							
決算額の推移		5,874	672	1,221								
前年度までの主な増減理由		R1 漢字指導者養成のための講座など終了。副読本の配付をやめ、副読本のデータ等を収録した記憶媒体を配布し、減額。 R2 県民会議協議事業の見直しにより、生涯学習において白川文字学を学ぶ場を提供することに、また、書写指導員派遣事業は他事業として実施し大幅減額。 R3 白川文字学ゼミおよび白川文字学漢字教室の実施回数減に伴い減額。										
[成果指標等の推移]												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	「白川静漢字教育賞」応募者数(人) (目標)	(10,000)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	(500)	令和2年度は漢字学習講座等への参加者数年間500人を目指したが、令和3年度からは「白川静漢字教育賞」応募者数500人を目指す。			
	実績	10,369	580	386	405							
活動指標	漢字学習講座等の充足率(%) (目標)	(10,000)	(12)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	令和2年度は漢字学習講座等の開催数年間12回開催を目指したが、令和3年度からは漢字学習講座等の定員に対する充足率100%を目指す。			
	実績	3,061	11	100	100							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
成果指標（応募者数）は、以下の要因から目標を達成することができなかったが、活動指標（各種講座の充足率）は、目標を達成することができた。 (外的要因) 県内外で小中学生向けの公募件数が増加傾向(事業による要因) 「一般の部」の応募者数が減少、固定化				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	60	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふるさと文学館貴重資料収納棚整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣		
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	—												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]							
[解決すべき問題・課題] 寄贈が予定される貴重資料の収蔵場所がない						[問題・課題を表す客観的データ] 寄贈予定 R6年度：額装112点 R7～8年度：額装・軸装256点 (文書箱には入らない大型資料であり、現在の貴重書庫には収蔵不可)							
[事業目的] 福井ゆかりの書家・評論家である石川九楊氏からの寄贈資料を適切に整理・保存することで、教育普及活動を推進する													
[事業内容] 文書館2階第3書庫の部分改修 <ul style="list-style-type: none"> ・特製のスチール枠木製棚板の収納棚を設置 ・大型資料が収蔵できるよう間仕切り設置、セキュリティ対策および除湿器設置の各工事を実施 													
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約75万人							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	武生公会堂記念館(越前市)ほか県内各市町の文学館および博物館に対して福井ゆかりの作家の資料を貸出・展示					他県の状況	[収蔵庫面積] 富山県立高志の国文学館(富山市) 288㎡ 石川近代文学館(金沢市) 122㎡ 全国道府県立文書館(11館)の平均 238㎡ ふるさと文学館 18㎡(現在)→74㎡(整備後)						

ふるさと文学館貴重資料収納棚整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,793		4,000		793							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						4,793						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	入館者数(人) (目標) 実績	70,304	46,883	62,608	(65,000)	(67,000)	(68,000)	(70,000)	平常開館時、年間65,000人 (H28~R1平均)			
活動指標	貴重資料受入点数(点) (目標) 実績	352	1,839	281	(300)	(300)	(300)	(300)	作家の自筆資料・愛用品、関係者の直筆資料、挿絵等 (蔵書は含まず)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額 —	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

こども歴史文化館魅力向上事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
新型コロナウイルスや常設展示の更新が行われていない等の要因から年間入館者数が過去3年間減少傾向にある。						過去3か年の来館者数推移 H30年度 40,275人 R元年度 31,197人 R2年度 19,841人					
[事業目的] 小中学生などの来館者がタブレット端末を活用して本県の歴史や文化などを楽しみながら展示観覧できるシステムを構築することにより、こども歴史文化館の魅力向上を図る。											
[事業内容] タブレット端末を活用し展示観覧できるシステムを整備 ・来館者が本県の歴史や文化などを楽しみながら学習できるシステムを構築 ・Wi-fiアクセスポイント 6箇所設置 (1F: 1箇所、2F: 4箇所、3F: 1箇所) ・貸出用タブレット端末 10台整備											
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約75万人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	市町教育委員会に対し、小中学校の校外学習や遠足などによる団体利用を働き掛け					他県の状況	ふるさと学習を目的に、子どもたちを主なターゲットとし、人物をテーマとした教育機関は全国にほとんど例がない。 (盛岡市(岩手県)、金沢市(石川県)、鹿児島市(鹿児島県)の3県のみ)				

こども歴史文化館魅力向上事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					5,206							
2月現計予算額の推移					5,206							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	利用者数(人) (目標) 実績				(40,000) 25,000		(55,000)	(70,000)	(中間目標) H29~R1の平均 (最終目標) 中間目標から展示閲覧システムの稼働による校外学習の 来館者数および企画展の来場者数の増加を見込む			
活動指標	団体利用した小中学校数 (回数) 実績				(50) 37		(65)	(80)	(中間目標) H29~R1の平均 (最終目標) 現在の1.6倍の利用			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
県内の小中学校への広報を行ったが、成果指標および活動指標ともに目標を達成することができなかった。 (外的要因) コロナ禍の外出自粛 (事業による要因) イベント等における参加定員の制限				展示閲覧システム「これきサーチ」が供用開始されることから、県内の小中学校に対して様々な広報媒体を活用した広報活動を行っていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

無形民俗文化財再生支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	民間事業者、団体等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	委託							□ 補助金				
補助率	-							□ その他				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[福井県文化財保存活用大綱]					
[解決すべき問題・課題] ・保存会員の高齢化と後継者不足 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う祭礼・神事等の発表機会や練習機会の減少						[問題・課題を表す客観的データ] ・20～39歳までの保存会員が20%以下の保存数 … 31団体 ・60歳以上の保存会員が30%以上を占める保存会数 … 34団体 ※県無形民俗文化財保護協議会55団体へのアンケート 42団体の回答結果から分析 ・R2祭礼・神事63件中新型コロナによる縮小30件、中止26件/R3.8現在36件中縮小16件、中止16件						
[事業目的] 少子高齢化や若い世代の流出による担い手不足、価値観・生活様式の変化等により無形民俗文化財の保存・継承が難しくなっている中、民間の力や外部人材等の介入により廃れ行く民俗文化財の再生を図る。併せて、再生される民俗文化財を活用し、地域のまちづくりや観光振興につなげる。												
[事業内容] 民間事業者がコーディネート役となり、若者を中心とした再生隊が企画立案し発表機会を創出するなど、無形民俗文化財の地域のまちづくりや観光資源としての活用を図る。 (1) 「再生隊」の募集・結成 (2) 発表機会の創出等の企画・実施 (3) まちづくりや観光資源として活用 事業主体…民間事業者、団体等 事業実施期間…令和4年度 予算要求額…1, 359千円 (一般)												
[受益者] 無形民俗文化財保存会						[想定される受益者数] 56団体						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 無形民俗文化財活動支援事業 (役割分担) ・無形民俗文化財保存会を資金面で支援する補助事業制度 ・福井県無形民俗文化財保護協議会を事業主体とし、申請のあった各保存会に上限200千円を補助する。					
市町との連携状況	・再生隊と保存会とのミーティングへの出席 ・人的および物的支援 ・まちづくりや観光振興に向けた保存会活動への協力					他県の状況						

無形民俗文化財再生支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	中村 忠嗣	
事業主体	民間事業者、団体等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						1,359						
2月現計予算額の推移						1,359						
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	保存会活動への参加人数 (1団体1回の活動あたり)	(目標) 実績				(110) 120				R3年度の保存会の会員数を100として基準にする。1年間の中で行われた発表等の活動への会員数の1割増(110)の参加者数を旨す。 ※最も参加者数が多かった活動を対象にする。		
活動指標	保存会の活動回数 (1団体あたり)	(目標) 実績				(9) 4				再生隊参加のミーティング3回、計画や準備1日・祭礼1日の計2日 ×3本実施 計1団体9回以上		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価			
成果指標について、目標を達成したため終了。 活動指標について、新型コロナウイルス感染症の影響等により、参加を希望する団体や再生隊員の確保に時間を要し、事業実施期間が短くなったため、活動回数の目標は達成できなかった。					-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	